

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-19	高等学校	国語	古典B	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	古B 341	精選古典B 改訂版		

1. 編修の基本方針

- 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てることができるよう配慮する。
- 教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、高校生が身に付けるべき教養として必要な古典作品を幅広く収録し、我が国の伝統と文化を尊重する態度をはぐくむよう配慮する。
- 教材化にあたっては、生徒の興味・関心を喚起しつつ、言語活動を通して、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
【古文編Ⅰ】 1 説話 宇治拾遺物語 十訓抄	○古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知ることがをねらいとし、説話教材 2 作品を収録した。(第 1 号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を寛容できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.12-17
2 随筆(一) 徒然草 方丈記	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材 2 作品を収録した。(第 1 号) ○個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。(第 2 号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.18-31
3 物語(一) 竹取物語 伊勢物語	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材 2 作品を収録した。(第 1 号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.32-43
4 随筆(二) 枕草子	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材 1 作品を収録した。(第 1 号) ○個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。(第 2 号) ○我が国の自然風土と言語文化の密接な関係に気づくことをねらいとし、作者の自然観や美意識が表れた章段を収録した。 ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.44-51
5 物語(二) 大鏡 平家物語	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、歴史物語教材 1 作品、軍記物語教材 1 作品を収録した。(第 1 号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.52-71
6 日記 土佐日記 更級日記	○古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、日記教材 2 作品を収録した。(第 1・5 号)	pp.72-81
7 物語(三) 源氏物語	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材 1 作品を収録した。(第 1 号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.82-93
8 和歌・歌謡・俳諧 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 梁塵秘抄 閑吟集 芭蕉・蕪村・一茶	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、和歌教材 3 作品、歌謡教材 2 作品、俳諧教材 1 作品を収録した。(第 1 号) ○生命を尊び、自然を大切にすることをねらいとし、我が国の四季折々の自然風土を詠んだ作品を収録した。(第 4 号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.94-108

【古文編Ⅱ】 1 説話 古今著聞集 今昔物語集	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、説話教材 2 作品を収録した。(第 1 号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.110-117
2 随筆 枕草子	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材 1 作品を収録した。(第 1 号) ○個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。 ○我が国の自然風土と言語文化の密接な関係に気づくことをねらいとし、作者の自然観や美意識が表れた章段を収録した。 ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.118-129
3 物語(一) 大和物語 大鏡	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、物語教材 2 作品を収録した。(第 1 号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.130-143
4 日記 蜻蛉日記 和泉式部日記 紫式部日記	○古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、日記教材 3 作品を収録した。(第 1・5 号)	pp.144-150
5 物語(二) 源氏物語	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材 1 作品を収録した。(第 1 号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.151-171
6 評論 古今和歌集仮名序 無名抄 風姿花伝 三冊子 玉勝間	○古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養うことをねらいとし、評論教材 5 作品を収録した。(第 1・5 号)	pp.172-183
7 近世の小説・浄瑠璃 西鶴諸国ばなし 雨月物語 曾根崎心中	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、小説教材 2 作品、浄瑠璃作品 1 作品を収録した。(第 1 号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.184-196
【漢文編】第Ⅰ部 1 故事成語 助長 知音 画竜点睛 漱石枕流 糟糠之妻 塞翁馬	○幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、現代でも使われる言い回しのもととなった故事を 6 作品収録した。(第 1 号) ○短文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.198-204
2 史伝—『史記』本紀 項羽と劉邦 鴻門の会 項王の最期	○当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、史伝教材 1 作品を収録した。(第 1 号) ○歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことが pp.8-15 できるよう配慮した。(第 3 号) ○中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.205-221
2 漢詩 尋胡隱君／竹里館 ／秋浦歌／江南春／ 春夜／哭晁卿衡／磻 中作／送友人／月夜 ／登高／咸陽城東樓 わが国の漢詩	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、唐宋の近体詩 12 首を収録した。(第 1 号) ○自然を詠み込んだ漢詩を収録し、生命を尊び、自然を大切にすることを養うことができるよう配慮した。(第 4 号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養することをねらいとし、日本人による漢詩 3 首を収録した。(第 5 号)	pp.222-235
4 文章 桃花源記 捕蛇者説	○真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとし、物語 1 作品、論説文 1 作品を収録した。(第 1 号) ○我が国でも親しまれた陶潜の名作と、達意の名文として知られる柳宗元の文章の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.236-243
5 思想—儒家 孔子と門人たち 人の性	○幅広い知識と、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典思想の主要な書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『論語』7 章、『孟子』3 章、『荀子』1 章を収録した。(第 1・5 号) ○収録した思想教材のテーマとして「孔子と門人たち」「人の性」「政治のありかた」を掲げ、主体的に社会の形成に	pp.244-257

政治のありかた	参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号)	
6 小説 定伯売鬼 定婚店	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、小説教材2作品を収録した。(第1号) ○小説文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.258-265
【漢文編】第Ⅱ部 1 逸話と寓話 長安何如日遠 不死之薬 売油翁 仁斎赤貧	○幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、逸話と寓話の教材4作品を収録した。(第1号) ○寓意を含んだ短文と、我が国の古人の逸話の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.278-283
2 史伝—『史記』列伝 荊軻	○当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、史伝教材1作品を収録した。(第1号) ○歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) ○中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.284-291
3 漢詩 人生 社会	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、古体詩6首を収録した。(第1号) ○収録した漢詩教材のテーマとして「人生」「社会」を掲げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号) ○漢語の特色を活かして構成された韻文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.292-301
4 文章 師説 春夜宴桃李園序	○真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとし、論説文1作品、駢儷文1作品を収録した。(第1号) ○達意の名文として知られる韓愈の文章と、漢語の特色を活かして構成された駢儷文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.302-307
5 思想—諸子百家 無為自然 法治の思想 愛	○幅広い知識と、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典思想の主要な書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『老子』2章、『莊子』2章、『韓非子』3章、『墨子』1章を収録した。(第1・5号) ○収録した思想教材のテーマとして「無為自然」「法治の思想」「愛」を掲げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第3号)	pp.308-317
6 長恨歌と日本の文学 長恨歌 源氏物語 更級日記 枕草子	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、長編の漢詩「長恨歌」を収録した。(第1号) ○他国の文化を尊重するとともに、我が国の伝統文化への興味・関心を喚起して理解を深めることをねらいとし、「長恨歌」に言及した平安時代の文学3作品を収録した。(第5号)	pp.318-331
6 小説 人虎伝	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、小説教材1作品を収録した。(第1号) ○我が国の文学にも影響を与えた伝奇小説の読解を通じて、古典の現代的意義を知り、理解を深めることをねらいとし、教材化に配慮した。(第5号)	pp.332-344

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点

- 古典に関する資料や図版を口絵にまとめた。その際、古文の主要作品・主要人物の流れや関係がわかるような図を配置し、生徒が古文の世界を概観できるように配慮した。また、その他の資料も、わかりやすいように「古文の舞台」「古文の暮らし」「漢文の舞台」などのテーマごとに配し、また説明に模型や写真を多用して、生徒が古典の世界を視覚的かつ具体的にイメージすることができるよう配慮した。
- 古典を読むための知識をまとめたコラム「古文を読むために」「漢文を読むために」、古典作品の背景を解説したコラム「古文の窓」「漢文の窓」を適宜配置した。
- 漢文編では、「基本句法のまとめ」「再読文字のまとめ」を設け、漢文を読むための基礎知識を一覧できるようにし、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-19	高等学校	国語	古典B	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	古B 341	精選古典B 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てることができるよう配慮した。

●構成

- 1 扱いやすさを考慮して、全体を古文編・漢文編の2編に、それぞれをさらに第Ⅰ部・第Ⅱ部の2部に分けた。
- 2 これまでの高等学校学習指導の継続性を考慮して、単元構成はジャンル別とした。

●教材選択にあたっての配慮

教材は、高校生が身に付けるべき教養として必要な古典作品を幅広く収録し、我が国の伝統と文化を尊重する態度をはぐくむよう配慮した。

●教材化の工夫

- 1 教材化にあたっては、生徒の興味・関心を喚起しつつ、言語活動を通して、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮した。
- 2 脚注、注意する語句、設問などを適切に付した。脚注欄では、人名には「人」、地名には「地」、補足的な情報には「補」、漢文の句法についての説明には「句法」の記号をつけ、参照しやすいよう配慮した。また、本文中の重要古語、訓読で注意する文字、主な句法に印を付け、重要古語については巻末の「重要古語索引」で一覧できるようにした。
- 3 教材を学習する上での手がかりとして、「学習のポイント」「言語活動」「単元課題」などを設け、その教材の学習を実践的に行うことができるよう配慮した。

●コラムの充実

- 1 古典を読む力を磨くコラム「古文を読むために」「漢文を読むために」を収録した。用例を豊富に示し、図解を効果的に用いて、生徒の意欲を喚起するよう配慮した。
- 2 古典の教材理解に役立つ背景知識をまとめたコラム「古文の窓」「漢文の窓」を収録した。
- 3 漢文編では「基本句法のまとめ」「再読文字のまとめ」を設け、漢文を読むための基礎知識を一覧できるようにし、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。

●付録の充実

- 1 古典に関する資料や図版を口絵にまとめた。その際、古文の主要作品・主要人物の流れや関係がわかるような図を配置し、生徒が古文の世界を概観できるように配慮した。また、その他の資料も、わかりやすいように「古文の舞台」「古文の暮らし」「漢文の舞台」などのテーマごとに配し、また説明に模型や写真を多用して、生徒が古典の世界を視覚的かつ具体的にイメージすることができるよう配慮した。
- 2 付録に敬語や識別に関する資料や解説を新たに収録するとともに、巻末に用言活用表や助動詞活用表など頻繁に参照する資料を収録し、教材に即して繰り返し確認できるよう配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容										箇所	配当 授業 時数
	(1)指導事項					(2)言語活動例						
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ			
[古文編]												
宇治拾遺物語（検非違使忠明…）	○	○	○	○	○	○					pp. 12-13	
十訓抄（大江山いくのの道）	○	○	○	○	○			○			pp. 14-15	
＜古文の窓1＞説話の生きる場所			○	○	○						p. 16	
＜古文を読むために1＞文脈を読み解く	○	○			○						p. 17	
徒然草（家居の…/応長のころ、…/ 名をさくより/世に語り伝ふること/ 今日はそのことをなさんと思へど）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 18-25	
方丈記（行く河の流れ/安元の大火/ 参考：日野山の閑居）	○	○	○	○	○			○			pp. 26-30	
＜古文を読むために2＞文法から解釈へ	○				○						p. 31	
竹取物語（かぐや姫の昇天）	○	○	○	○	○					○	pp. 32-37	
伊勢物語（初冠/月やあらぬ/関守/つ ひにゆく道）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 38-43	
枕草子（木の花は/中納言参りたまひ て/二月つごもりごろに/九月ばかり）	○	○	○	○	○			○			pp. 44-46、 48-50	
[言語活動]「古今異義語辞典」を作る	○					○				○	p. 47	
＜古文の窓2＞中宮定子と清少納言			○	○	○						p. 51	
大鏡（雲林院の菩提講/競べ弓/花山 院の出家）	○	○	○	○	○			○			pp. 52-60	
＜古文の窓3＞藤原道長の栄華			○	○	○						p. 61	
平家物語（宇治川の先陣/能登殿最 期）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 62-71	
土佐日記（羽根/白波）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 72-75	
更級日記（あこがれ/源氏の五十余 巻）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 76-79	
[言語活動]古典の「夢」について調べる										○	pp. 80-81	
源氏物語（桐壺/参考：藤壺の入内/ 若紫）	○	○	○	○	○	○		○			pp. 82-92	
＜古文の窓4＞『源氏物語』の影響			○	○	○						p. 93	
万葉集	○	○	○	○	○	○		○			p. 94	
古今和歌集（仮名序/撰者の歌）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 98-101	
新古今和歌集	○	○	○	○	○			○	○	○	pp. 102-103	
梁塵秘抄	○	○	○	○	○			○			p. 104	
閑吟集	○	○	○	○	○			○			p. 105	
芭蕉・蕪村・一茶	○	○	○	○	○			○	○		pp. 106-108	
古今著聞集（源義家、衣川にて…）	○	○	○	○	○			○			pp. 110-111	
今昔物語集（馬盗人）	○	○	○	○	○			○			pp. 112-117	
枕草子（うれしきもの/上にさぶらふ …/頭の弁の、…/この草子、…）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 118-129	
大和物語（をばすて）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 130-131	
大鏡（道真左遷/三船の才/肝だめし/ 鶯宿梅）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 132-143	
蜻蛉日記（町の小路の女）	○	○	○	○	○			○			p. 144-146	
和泉式部日記（薫る香に）	○	○	○	○	○			○			pp. 146-148	
紫式部日記（和泉式部と清少納言）	○	○	○	○	○			○			pp. 149-150	
源氏物語（葵/須磨/若菜上/御法/橋 姫）	○	○	○	○	○			○			pp. 151-171	
古今和歌集仮名序（やまと歌/参考： 真名序）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 172-173	
無名抄（おもて歌）	○	○	○	○	○			○			pp. 174-175	
風姿花伝（因果の花）	○	○	○	○	○			○			pp. 176-178	
三冊子（不易と変化）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 179-180	
玉勝間（師の説になづまざるごと）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 181-183	
西鶴諸国ばなし（大晦日は…）	○	○	○	○	○			○			pp. 184-187	
雨月物語（夢応の鯉魚）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 188-192	
曾根崎心中（道行）	○	○	○	○	○			○			pp. 193-196	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容									箇所	配当 授業 時数	
	(1)指導事項					(2)言語活動例						
	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ			
〔漢文編〕												
助長	○	○	○	○	○						p. 198	
知音	○	○	○	○	○	○		○			p. 199	
画竜点睛	○	○	○	○	○	○					p. 200	
漱石枕流	○	○	○	○	○	○					p. 201	
糟糠之妻	○	○	○	○	○	○		○			p. 202	
塞翁馬	○	○	○	○	○	○					p. 203-204	
項羽と劉邦（彼取りて代はるべきなり／大丈夫当に…）	○	○	○	○	○			○			pp. 205-209	
鴻門の会（沛公 項王に見ゆ/樊噲目を瞋らして項王を視る）	○	○	○	○	○	○		○			pp. 210-215	
項王の最期（四面皆楚歌す/我 何の面目ありて之に見えん）	○	○	○	○	○	○		○			pp. 216-220	
〈漢文の窓1〉司馬遷の視点				○							p. 221	
漢詩（竹里館/秋浦歌/江南春/春夜/哭晁卿衡/参考：唐土にて…/磧中作/送友人/月夜/登高/咸陽城東樓）								○			pp. 222-230	
わが国の漢詩（桂林莊雜詠/将東遊題壁/題自画）								○			pp. 231-232	
〔言語活動〕詩人の紹介文を書こう				○				○	○		p. 233	
〈漢文を読むために1〉漢詩の形式と表現											pp. 234-235	
桃花源記	○	○	○	○	○			○			pp. 236-238	
捕蛇者説	○	○	○	○	○			○			pp. 239-243	
孔子と門人たち（賢哉回也/過猶不及/行不由徑/暴虎馮河/聞斯行諸）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 244-249	
人の性（不忍人之心/人之性悪/性猶湍水也）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 250-253	
政治のありかた（子路問君子/子之武城、聞弦歌之声/何必曰利）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 254-257	
定伯売鬼	○	○	○	○	○						pp. 258-259	
定婚店	○	○	○	○	○						pp. 260-265	
基本句法のまとめ								○			pp. 266-275	
再読文字のまとめ								○			p. 276	
長安何如日遠	○	○	○	○	○			○			pp. 278-279	
不死之薬	○	○	○	○	○			○			p. 280	
売油翁	○	○	○	○	○			○			p. 281	
仁斎赤貧	○	○	○	○	○			○			p. 282	
荆軻（風蕭蕭として易水寒し/函窮匕首見る/（参考）易水送別）	○	○	○	○	○			○			pp. 285-291	
人生（桃夭/行行重行行/飲酒）	○	○	○	○	○				○		pp. 292-294	
社会（子夜呉歌/石壕吏/売炭翁）	○	○	○	○	○				○		pp. 295-301	
〈漢文を読むために2〉文の形式と表現				○							pp. 300-301	
師説	○	○	○	○	○			○			pp. 302-305	
春夜宴桃李園序	○	○	○	○	○						pp. 306-307	
無為自然（小国寡民/渾沌/曳尾於塗中）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 308-310	
法治の思想（侵官之害/処知則難）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 311-313	
愛（兵者、不祥之器/兼相愛/母之愛子也）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 314-316	
〈漢文を読むために3〉諸子百家の思想				○							p. 317	
長恨歌	○	○	○	○	○			○			pp. 319-327	
源氏物語（翼をならべ、…）				○	○			○			pp. 328-329	
更級日記（七月七日）				○	○			○			p. 339	
枕草子（梨花一枝）				○	○			○			p. 342	
人虎伝（才を恃みて…/道に虎有り/化して異獣と為り、…/我 將に…/再び此の途に…）	○	○	○	○	○			○	○		pp. 332-343	
〈漢文の窓2〉「人虎伝」と「山月記」				○				○			p. 344	